

一昨年度より、保護者の皆様や地域の方々のご協力を得ながら、「館野小にかかわるすべての人々のウェルビーイングの実現」に向け、教育活動に取り組んでいます。今年度は、児童が「自分からやってみよう」という思いをもち、実行する力を育てていきたいと考え、日々実践を重ねて

います。その中で、今回「学校が楽しい」と回答した児童が90%を上回る結果となりました。児童にとって「安全・安心な学校」「行きたくなる学校」を目指し、これからも教職員全員で努めて参ります。学校の様子については、ホームページを活用し、積極的に発信していきます。

※今回いただいた保護者の方からのご意見は、今後検討し、改善できるところから取り組んでいきたいと思います（学校と地域の連携、おたよりのデジタル化、トラブルの対応等）。また、アンケート項目についてのご意見もいただきました（お子様に尋ねても明確な返事が得られず、回答しづらい、等）。普段のお子様から聞く学校の様子を念頭に置き、お答えいただければと思います。

＜令和７年度保護者・児童アンケート(前期)結果より＞

## 学校・自己肯定感について

肯定的評価（あてはまる＋だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度	今後の取組
						昨年度後期	
保護者	お子さんは、学校に行くのが楽しいと感じている。	49.5%	41.1%	7.5%	1.9%	90.6%	「学校が楽しい」と回答している児童が、昨年度より増えています。しかし、「楽しくない」と思っている児童もいます。それぞれの状況に合わせて、積極的に声をかけていき、一人一人のがんばりを認めたり、悩みや不安を相談しやすい環境づくりに配慮したりしていきます。
						90.2%	
児童	わたしは、学校が楽しい。	64.4%	29.8%	3.3%	2.4%	94.2%	
						89.6%	

## 自己肯定感について

肯定的評価（あてはまる＋だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度 昨年度後期	今後の取組
保護者	お子さんは、「自分にはがんばっているところがある」と思っている。	56.8%	39.4%	3.4%	0.5%	96.2%	今年度は、「自己肯定感」の中でも特に「自己有用感」に焦点を当てて、児童が「自分のしたことが、誰かに喜んでもらえた。」「自分の行動がみんなの役に立った。」と思えるようにしていく取組をしています。今後も自己有用感が高まるような活動を工夫したり、励ましの声かけをしたりしていきます。
						96.9%	
児童	わたしには、がんばっているところがあると思う。	49.2%	38.7%	8.1%	4.1%	87.9%	
						88.6%	

## 學習環境

肯定的評価（あてはまる＋だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度 昨年度後期	今後の取組
児童	わたしは、勉強に使うものを大事に使い、教室や自分の周りを整理している。（今年度の新項目）	57.5%	35.6%	5.7%	1.2%	93.1%	学校の移動教室の際も机の上を整理してから移動するなど、学習環境を整える意識が高まっています。家庭でも物を大切に使うことや身の回りを整えることについて丁寧に確認していただいているおかげです。今後も継続して物の大切さ、整理整頓について指導していきます。


## 学習について

肯定的評価（あてはまる＋だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度 昨年度後期	今後の取組
保護者	お子さんは、学校の勉強を理解している。	41.2%	41.2%	16.2%	1.5%	82.4%	<p>学校研究の主題を「すすんで学ぶ子」とし、児童の主体性が発揮される授業を目指しています。「主体的に学ぶための単元構想」と「学びが深まる見取りと手立ての工夫」を研究の重点として取り組んでいます。</p> <p>それぞれの児童の学びを深めることができるように、児童一人ひとりの学習状況を見取り、効果的な手立てができるように取組を進めています。また、ICTを効果的に活用し、友達と学び合いながら考えを深めていけるよう働きかけていきます。</p>
						82.4%	
児童	わたしは、授業がよくわかる。	45.8%	42.0%	9.8%	2.4%	87.8%	
						87.5%	
児童	わたしは、授業中、自分から進んで学習している。	43.0%	38.4%	15.3%	3.3%	81.4%	
						84.7%	
児童	わたしは、友達と学び合う活動を通して、自分の考えを伝えたり深めたりすることができている。（今年度の新項目）	51.3%	35.3%	10.7%	2.6%	86.6%	

## あいさつについて

肯定的評価（あてはまる＋だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度 昨年度後期	今後の取組
保護者	お子さんは、気持ちのよいあいさつをする習慣が身についている。	28.5%	50.0%	19.1%	2.4%	78.5% 78.2%	「私は、自分からあいさつをしている」の肯定的な回答が増えています。あいさつは「人とつながるため」のものであることを児童と共有しながら取り組んでいます。学校の中でも「こんにちは」と自分から挨拶できる児童が増えています。基本的な生活習慣を整え学校と家庭が連携して、児童の成長を支えていきましょう。
保護者	お子さんは、帰宅時刻を守り、早寝早起きをしている。	37.7%	41.5%	17.6%	3.1%	79.2% 80.0%	
児童	わたしは、自分からあいさつをしている。	60.1% 	27.0%	11.2%	1.7%	87.1%	
						87.5%	

学校生活について

肯定的評価（あてはまる＋だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度 昨年度後期	今後の取組
保護者	お子さんは、正しい言葉づかいをし、相手のことを大切にしている。	23.4%	56.3%	17.4%	2.9%	79.7%	「相手を大切にした言葉づかい」について肯定的な評価が増えています。自分はもちろん、相手や周りのこと（相手はどう感じるか、みんなが気持ちよく過ごすためにどうすれば良いのか）を考え、行動できるように指導していきます。児童会目標にもある「思いやり」を増やすために、一人一人何ができるが具体的に考えていきたいと思います。 学校・学級をよりよくしようとする肯定的な評価が9割以上になっています。すべき取り組みに責任を持って取り組み、最後までやり切れるようにしていきます。そして、出来るようになった活動や失敗からの対策を考え、成功体験を実感できるよう支援していきます。
						84.2%	
児童	わたしは、友達を傷つける言葉をつかわず、相手を大切にした言葉づかいをしている。	58.9%	30.1%	8.6%	2.4%	89.0%	
						88.2%	
児童	わたしは、進んで係の仕事や委員会活動、たてわり活動に取り組んでいる。	64.0%	29.4%	5.5%	1.2%	93.4%	
						94.8%	

体づくり

肯定的評価（あてはまる＋だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度 昨年度後期	今後の取組
保護者	お子さんは、進んで体を動かそうとしている。	53.6%	27.5%	14.0%	4.8%	81.1%	「進んで体を動かす」意識の肯定的な評価が増えました。休み時間では、天気の良い日に運動場、カラーアスファルトで元気に遊んでいる様子が多く見られ、雨の日でも投げ運動に親しむ姿が見られます。体を動かし気持ちが良くなる経験を増やせるよう取り組んでいきます。また、体力アップに向けて、体育の時間に、持久走（3分間走）など準備運動に取り組んでいます。児童から体育科で楽しかった話やこんな活動をした話をご家庭ですることが出来る授業作りに取り組んでいきます。
						79.2%	
児童	わたしは、体育の授業や学校生活の中で、進んで体を動かしている。	66.6%	26.7%	4.5%	2.1%	93.3%	
						91.5%	
児童	わたしは、学校以外の場で、進んで体を動かしている。	62.5%	23.4%	10.3%	3.8%	85.9%	
						82.2%	

安心・安全な学校づくり

肯定的評価（あてはまる＋だいたいあてはまる） 上段は今年度 下段は昨年度後期

		あてはまる	だいたいあてはまる	少しあてはまらない	あてはまらない	今年度 昨年度後期	今後の取組
保護者	学校は、学校公開やお便り、学校ホームページなど学校の様子が伝わる機会を作っている。	50.0%	47.1%	2.7%	0.2%	97.1%	ホームページが学校の様子を伝えるひとつの方法として定着しつつあることを感じています。学校から発信できる情報を検討しながら、学校・家庭・保護者が互いに情報を共有し、児童の健全な育成に連携しながら取り組んでいけたらと思います。 学校は「小さな社会」と呼ばれています。社会的なマナーや人づきあいなど、授業以外にも身につけたり学んだりすることがたくさんあります。ときにはうまくいかないこともあるかもしれませんが、うまくいかなかったことから学びが生まれるよう、教員がコーディネートし、どの子にとっても安心で安全な学校となるようにしていきます。
						98.2%	
保護者	先生は、お子さんが困っているとき、話を聞いてくれる。（今年度の新項目）	56.3%	40.3%	2.4%	1.0%	96.6%	
児童	わたしは、友達の気持ちを考え、相手の嫌がることをしないで仲よく生活している。	59.9%	32.7%	5.3%	2.1%	92.6%	
						92.0%	

※3%以上プラスで ↑ 、3%以下マイナスで ↓、3%未満は同等として標記していません。

<令和7年度「全国・学力学習状況調査」及び「県基礎学力調査」の結果について>

令和7年度「全国・学力学習状況調査」及び「県基礎学力調査」が4月に6年生と4年生を対象に行われ、国や県から本校の結果が返ってきましたので、その概要と今後の学力向上の取組方針をお知らせします。学校教育と家庭教育の力を合わせ、児童の学力向上に結び付けましょう。

全国学力・学習状況調査結果と分析	
6年 国 語	「話すこと、聞くこと」「漢字」の問題は、理解している児童が多かったです。「目的や意図に応じて必要な情報を見つけ、自分の考えが伝わるように書き表す」問題について、課題がみられました。目的に応じて必要な情報を見つけることができるよう視点を示すなど丁寧に指導していきます。
6年 算 数	「表やグラフの読み取り」や「数と計算（小数や分数の計算）」の問題は、理解している児童が多かったです。「図形（平行四辺形の描き方や面積の求め方）」や「数と計算（分数の意味理解）」の問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。図や言葉で考えを説明する活動を大切にします。
6年 理 科	「結果を基に結論を導いた理由を表現する」「結果やまとめを基に他の条件での結果を予想する」問題については、理解している児童が多かったです。「差異点や共通点を基に新たな問題を見だし表現する」「解決するための観察、実験の方法が適切であったかを検討し、表現する」問題に課題がみられました。これらの点を意識して授業改善に努めます。
石川県基礎学力調査結果と分析	
6年 社 会	「石川県全体の地形や交通の様子」については、概ね理解できていました。「地図帳の読み取り（緯度・経度）」や「グラフ等の複数の資料を基に考察し表現する」問題について、課題がみられました。地図帳や資料を活用しながら、考察し表現する活動を大切にします。
6年 英 語	「文字の発音を聞き取り小文字を書く」「簡単な語句を正しく書き写す」問題は、理解している児童が多かったです。「簡単な語句を聞き取る」「簡単な事柄について具体的な情報を聞き取る」問題は、これからも繰り返し学習を重ねていく必要があります。
4年 国 語	「話すこと・聞くこと」に関する問題は、理解している児童が多かったです。「ローマ字」「漢字の読み書き」「指示語」「書く内容の中心を明確にし内容のまとまりで段落をつくって書き表す」問題については、課題がみられました。知識の定着を図るとともに、文章から当てはまる言葉や指示語の指す言葉を明らかにする指導を丁寧に行っていきます。
4年 算 数	「基本的な四則計算や□を用いた計算」「図形（三角形の構成）」に関する問題は、理解している児童が多かったです。「測定（かさの単位、重さの目盛りの読み取り）」「データの活用（捉えた特徴を根拠に理由を説明する）」に関する問題は、まだ十分理解しているとはいえませんでした。量感を育てるなど、算数的活動を大切にしていきます。

上記の結果を踏まえ、どの学年においても、十分に理解できなかった分野において、重点的に指導していきます。

学校では、①次の時間の準備 ②チャイムスタート ③話し手を見て聴く を重点的に取り組んでいます。また、児童主体の「チャレンジ探求型たちのスタイル」にも継続して取り組んでいます。ご家庭でもお子様の学習が充実できるよう、学習環境を整え、認め励ましの声かけ等のご協力をお願いします。